

“世界で最もひとり暮らし女性の多い街のひとつ”

東京で、レオパレス21が女性の不安を軽減

お部屋の窓に男性の様々なシルエットを投影し、住居侵入犯罪を防ぐ

## レオパレス21、「Man on the Curtain」を発表

2018年3月23日（金）よりWEBムービーを公開

<http://www.leopalace21.com/special/manonthecurtain/index.html>

株式会社レオパレス21（本社：東京都中野区、代表取締役社長：深山英世、以下「レオパレス21」）は、ひとり暮らしの女性の多くが不安に思う、女性を狙った住居侵入犯罪を軽減することを目的とした防犯施策「Man on the Curtain」を開発、新たなセキュリティ施策として発表しました。また、その内容を紹介するWEBムービーを、2018年3月23日（金）よりWEBにて公開しました。



およそ140万人の女性がひとり暮らしをしている東京は、“ひとり暮らしの女性が世界一多い街の一つ”と言われています。ひとり暮らし向けのお部屋を提供しているレオパレス21では、少しでも女性の不安を取り除き、より安全に、のびのびと生活してもらうために何ができるのかを考えました。この度、レオパレス21が開発した防犯施策「Man on the Curtain」は、スマートフォンとプロジェクターだけを用いて、動く男性のシルエットを窓に投影するものです。動く男性のシルエットは、シャドーボクシングをしているものや、筋トレをしているもの、バットで素振りをしているものなど全部で12種類あり、どれも強そうな男性が生活している様子を写します。この取り組みは、防犯理論「攻める防犯」に則っており、犯罪者に大きなプレッシャーをかけることで犯行を抑止することに効果的であると言われています。

この内容を紹介するWEBムービーは、下記のWEBサイトからご覧いただけます。

また、「Man on the Curtain」のプロジェクターキットを5名様にプレゼントいたします。WEBサイトよりご応募ください。

<http://www.leopalace21.com/special/manonthecurtain/index.html>

## 【犯罪心理学者 出口保行教授のコメント】



犯罪者は検挙されることを最も恐れます。カーテンに男性が映っているだけでも非常に強い犯罪抑止力を発揮します。私が内閣府や警視庁を通して主張・啓蒙している「攻める防犯」とは、私が立ち上げた防犯理論です。これは、犯罪を行おうとする者は、動機を形成したからといって、即座に実行に移すわけではなく、かなり慎重に実行に移すかどうかを考えると注目しています。刑務所等で1万人以上の犯罪者を心理分析する中で、彼らが常に犯罪をしている

わけではないということ。つまり、実行に至るのはごく少ないということを知りました。犯罪を行おうとする者は、動機を形成した後、リスクとコストを考えます。リスクとはその行動を行うことによって検挙される危険性の高さであり、コストとはその行動を行うことによって失うものの大きさ（社会的地位や家族等）となります。「攻める防犯」の考え方に則ると、まさに今回の企画は犯罪者に大きなプレッシャーをかけることで、動機を形成しても実行させないことに効果的であると考えます。

## 【WEBムービーの制作にあたって】



女性の社会進出が注目されています。その一方で、女性を狙った住居侵入犯罪は、後を絶ちません。レオパレス21は、「女性の活躍は、女性の安全から」と考え、ひとり暮らしで頑張る女性を応援するべく、犯罪心理学をもとにした施策を研究・開発し、実現に踏み出しました。犯罪者はひとりである女性を狙っています。いかに、ひとりである女性に見せないか、がとても重要です。だからこそ、カーテンに映る男性の影映像のリアリティにはこだわりました。CGがいいか、実写がいいか、光量はどれぐらいがいいか本当に男性がそこにいるように見えるよう、丁寧な検証を繰り返しました。スマホとプロジェクターを繋ぐだけで犯罪抑止に繋がる、その簡単さもポイントです。一人でも多くの方に、体験いただければと思っています。

## 【制作スタッフ】

CD：木村 年秀

PL/CW：見市 沖

AD：村野 崇行

CP：木村 千沙子

プロデューサー：中村 俊介／石井 健

映像技術担当：青田 卓磨

演出：隈本 遼平

撮影：高橋 大祐

照明：野田 真基

録音：久保 琢也

スタイリスト：岡田 典子

編集：対馬 天伸

音楽：吉田 重雄

デザイン：株式会社 ワークアップたき

製版：株式会社 精美堂